

日本テスト学会第16回大会・第2号通信

平素たいへんお世話になっております。日本テスト学会第16回大会実行委員会より、第2号通信をお届けします。第2号通信では、大会当日までのスケジュール確認とともに、当日プログラムの概要をお知らせします。

皆さまの大会参加、一般研究発表を、心よりお待ちしております。

※ 一般研究発表、参加申込みは、大会ウェブサイト <http://jartest16th.jp/> を通して行えます。

※ 参加申込みは当日でも可能ですが、当日の受付を円滑に進めるため、参加費の事前支払いにご協力ください。郵便払込みにて受け付け中です。詳細は大会ウェブサイトをご覧ください。

1. 大会開催要項

日時：2018年9月8日(土)～9月9日(日)

場所：東京家政大学 板橋キャンパス 15号館（東京都板橋区加賀1-18-1）

アクセス：<http://jartest16th.jp/access.html>

2. 大会当日までのスケジュール確認

6月22日(金) 23:59 一般研究発表申込み（タイトル及び300字概要）期限

7月16日(月) 23:59 一般研究発表抄録原稿送付 期限

8月17日(金) 大会参加費・懇親会費事前払込み 期限

3. 当日プログラム概要（予定）

9月8日(土) 公開シンポジウム等、総会、懇親会

9月9日(日) 一般研究発表

9月8日の公開シンポジウム等について、以下の通り予定しています（話者について敬称略）。

10:00～12:00 研究委員会企画セッション

司法制度改革とテスト学～法科大学院全国統一適性試験の歩み～

話題提供：野口裕之（名古屋大学）

藤本亮（名古屋大学）

前田忠彦（統計数理研究所）

柴山直（東北大学）

佐藤喜一（九州大学）

指定討論：山本昌平（適性試験管理委員会事務局長・（公財）日弁連法務研究財団常務理事・弁護士）

司 会：川端一光（明治学院大学）

法科大学院統一適性試験の概要やこれまでの歩み、信頼性や妥当性等について、適性検査の実務分析に携わってこられた先生方に話題提供をお願いし、その後、質疑・討論を行います。

13:00～14:30 公開シンポジウム

大学入試改革 — テスト学の観点からのふり返りと展望

話題提供：大塚雄作（京都大学）

前川眞一（東京工業大学）

指定討論：木村拓也（九州大学）

司 会：南風原朝和（東京大学）

2020年度に実施される大学入試から、記述式問題の導入と英語民間試験の活用を目玉とする大学入学共通テストが始まります。この入試改革はテスト学の観点からみてどう評価されるのか、また今後の展望はどうか等について、それぞれ大学入試センターの試験・研究統括官そして文部科学省のWG委員として改革に関わってこられた大塚氏と前川氏にお話いただきます。そして、国立大学協会の入試委員会のWGメンバーであった木村氏からコメントをいただいて、全体討論を行う予定です。

15:00～16:30 大会実行委員会企画セッション

ICTを活用した教育・学習支援システムが開く新たな評価の可能性

話題提供：本間達朗（ニュートンジャパン株式会社）

磯津政明（株式会社ソニー・グローバルエデュケーション）

話者調整中（Classi株式会社）

司 会：孫媛（国立情報学研究所）

ICTを活用した教育・学習システムの普及に伴い、基準への到達度や他者との比較に重点を置いた静的な測定から、ダイナミックに変化する能力や個別性に着目した測定へのシフトが予想されます。本セッションでは、新しい取り組みをしてこられた企業3社から話題提供をいただき、測定・評価の専門家として私たちが貢献できることが何かを皆さんと考えていきたいと思っております。

※ 時間、タイトル、内容はすべて予定。変更の可能性あります。

4. 問合せ先

大会事務局 jartest2018@gmail.com

2018年6月15日

第16回日本テスト学会大会実行委員会委員長

井上 俊哉（東京家政大学）